

赤十字だより



日本赤十字社 岐阜県支部

Japanese Red Cross Society

〒500-8601 岐阜市西部中島2-9

TEL 058-272-3561 <http://www.gifu.jrc.or.jp/>

発行日 平成25年7月1日 Vol.23

赤十字の活動は、皆様からの社費で支えられています

今この瞬間も、これからも、
命を守るために活動しています

大地震、津波、戦争、震災へ

地球上の至るところで、今この瞬間も多くの人が苦しい状況に置かれています。日本赤十字社は一刻も争う国内外の災害時の救援をはじめ、被災で苦しむ人のサポートなど幅広い活動を行っています。そこに住む人たちが一日も早く自立できるよう、復興への道程をサポートする為の長い支援活動も行っています。これからも、命を守る活動を続けていくために、みなさまからの活動資金が必要です。

CONTENTS

高山赤十字病院90周年!!	2	赤十字講習会のご案内	6
5月12日は看護の日—ふれあい看護体験—	2	中学生が一次救命処置を学ぶ	6
入院サポートセンターオープン—高山赤十字病院—	2	被災地にJRCメンバーを派遣	6
ウロギネ外来を産婦人科外来に併設	3	赤十字奉仕団活動報告—岐阜経済学生奉仕団—	7
新血管撮影装置が稼働	3	赤十字奉仕団の炊き出し	7
岐阜赤十字病院第2回ふれあいまつり	3	岐阜県支部平成25年度第1回評議員会	8
全国赤十字大会開催	4	赤十字運動月間—街頭で赤十字をPR—	8
岐阜清流ハーフマラソンで救護	4	岐阜県支部お知らせ	8
献血ルームイベントのお知らせ	5		
第1回血液センターふれ愛フェスティバル	5		

高山赤十字病院

高山市天満町3-11

TEL	0577(32)1111
電話予約センター	☎ 0120-214-489
H.P.	http://www.takayama.jrc.or.jp/
外来受付時間	8:00~11:00(全科予約診療)
休日	土・日・祝祭日・年末年始 創立記念日(5月1日) ※急患の場合は随時受付しております



高山赤十字病院90周年!!

当院は前身である「飛騨三郡立大野郡病院」として明治32年1月に現在地に創立されました。その後、大正11年11月に「日本赤十字社」に移管され、昨年11月をもって90周年を迎えました。来る100周年に向けて職員が一丸となって病院を盛り立てていきますので、ご支援ご協力をお願いいたします。

記念して作製した
さくらぼんぼんバッジ



5月12日は看護の日ーふれあい看護体験を開催ー

高山赤十字病院で、「看護週間」の期間中、看護師が配属部署を紹介する展示や期間中の土曜日には、看護師を目指す若者をサポートしようと高校生を対象に「ふれあい看護体験」を開催しました。

今年5月5日~12日を「看護週間」とし、11日に「ふれあい看護体験」を実施し、飛騨地域の5つの高校から23人が参加して看護への理解を深めました。またその日の午後は、入院患者さんの為に「ふれあいコンサート」があり、今年は沖縄舞踊と三線が演奏されました。

参加した生徒らは看護師から直接指導を受けながら、入院患者の洗髪や車椅子の介助などを体験しました。産婦人科病棟で新生児の世話を体験した女子生徒は「患者さんとの接し方を学びたい」と思って看護体験に参加した。生後4日目の赤ちゃんの世話をしたのは初めてで緊張した」と話していました。



生まれたばかりの
赤ちゃんにドキドキ

6月3日に「入院サポートセンターオープン」

入院患者さんの高齢化や病床回転率の上昇も相まって、業務量が増え、現場は煩雑化しており、患者さんへの安全で良好な療養環境の提供と、職員の働きやすい環境を整備する事が長年の課題でした。そんな時、PFM(Patient Flow Management)を知りました。PFMとは「病床管理を中央化し、効率的な運用を行うとともに、患者の“外来から入院、退院後の生活”の一連を視野に入れた一貫した支援を行う」事で、他施設で先進的に実施されています。当院ではさらに「質(Quality)の向上」を目指しPFQMとして取り組みを開始し、このたび入院サポートセンターを開設しました。

私たちスタッフ一同は「患者満足」「職員満足」「医療の質向上」の信念のもと、PFQMを実現させるため取り組んでいきますので、入院が決まり「不安なこと」「不明なこと」等ございましたら、どんな事でも結構です。何なりとお尋ね下さい。

POINT

3年計画で
実施

- ①適切な病床管理
- ②入院時オリエンテーションの充実
- ③薬剤師による持参薬管理
- ④患者さんやご家族との入院前
面談による問題の早期発見と介入
- ⑤多職種間の連携による患者支援の充実



入院サポートセンター開設式



スタッフが笑顔でお応えします

岐阜赤十字病院

岐阜市岩倉町3-36

TEL
058(231)2266

HP
<http://www.gifu.jrc.or.jp/home/gifu-med/>

外来受付時間
8:30~11:00(午後は予約診療)

休診
土・日・祝祭日・年末年始・創立記念日(5月1日)
※急患の場合は随時受付しております



女性に朗報! 「ウロギネ外来」を産婦人科外来に併設



「ウロギネ外来」にて
(右)三輪医師

7月1日より泌尿器科と産婦人科が協働で新しく「ウロギネ外来」を産婦人科外来に併設しました。女性骨盤底領域においてさらに専門性の高い診療とサービスを提供することにより、女性患者さんが安心して受診できる診療を目指しています。当院医師のみならず、初代「泌尿器女性専門外来」の医師で亀田総合病院ウロギネコロジセンターの三輪好生医師に非常勤で診察・手術を担当いただくことにより、最新の医療をご提供できることと思います。詳しくは岐阜赤十字病院ホームページをご覧ください。

6月13日より新血管撮影装置が稼働

この装置は主に心臓カテーテル検査などに使用するもので、自由度が高く多方向からの観察や最適なアングルの設定ができるため操作性に優れています。患者さんの被ばく低減と低線量透視での画質の向上などが図られた最新の機器です。



新しい新血管撮影装置

岐阜赤十字病院 第2回ふれあいまつり開催!

平成25年5月18日(土)に岐阜赤十字病院第2回ふれあいまつりが開催されました。「曇りのち雨」の天気予報が外れることを強く祈って迎えた当日、時折日差しが差すほどの天気となり絶好のまつり日和でした。

企画立案から当日の進行やイベント・模擬店を職員が中心に行いましたが、多くの来場者が訪れ大変なごわいとなりました。日赤コーナーでの子供用のナース服や救護服を試着しての写真撮影や岐阜聖徳学園大学がっぱの会によるクラフト制作など随所にこどもたちの笑顔が見られました。

同時開催の「看護の日イベント」ブースでは、簡易健康相談やリハビリ相談、パネル展示、塩分量やカロリーに関する減塩クイズなどがあり入院患者さんも参加していました。

ステージでは済美高校のプラスアンサンブル部とパトントフリング部がヒット曲メドレーなどの吹奏楽の演奏やフレッシュで完成度の高いパトンの演技を行い、その後柳ヶ瀬発!アイドルユニット「モンソレイユ415」のミニコンサートもあり次々と観客を魅了していました。コンサート終了後、モンソレイユ415メンバーは日赤の救護服に着替え、救急法のデモンストレーションに参加して、観客と一緒に心肺蘇生法や自動体外式除細動器(AED)の使用法を学びました。メンバーの一人若宮さきとさんは「初めての体験でしたが、もしもの時に教えてもらったことを思い出し人の命を助けたい」と感想を述べていました。

モンソレイユ415メンバーが
救急法を紹介



日本赤十字社岐阜県支部

岐阜市西部中島2-9

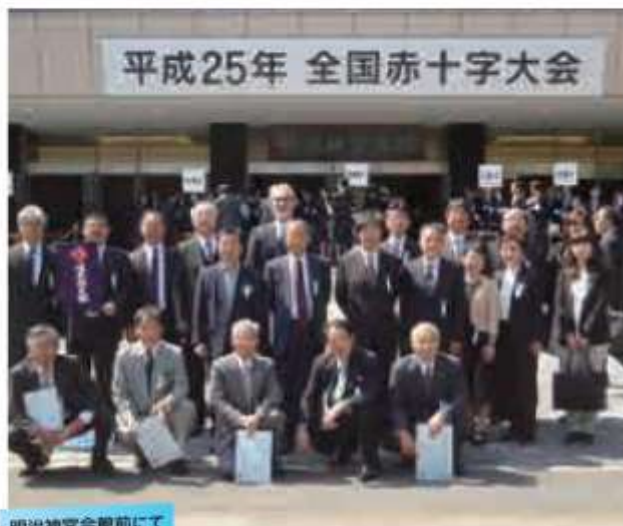
TEL 058(272)3561

HP <http://www.gifu.jrc.or.jp/>

休日 土・日・祝祭日・年末年始・創立記念日(5月1日)



平成25年全国赤十字大会開催



明治神宮会館前にて

日本赤十字社名誉総裁の皇后陛下、同名名誉副総裁の秋篠宮妃殿下、常陸宮妃殿下をお迎えした平成25年全国赤十字大会が、世界赤十字デーの5月8日、明治神宮会館(東京・渋谷)で開催されました。全国から約2,000人が参加し、当県からも有功会員や赤十字関係者ら23名が参加しました。

大会の式典では、功労者への表彰として、全国から選ばれた方々に皇后陛下から有功章が授与されたほか、実践活動報告として、岩手県の学生奉仕団による東日本大震災の子ども達を招いたサマーキャンプでの活動や、大阪府高等学校青少年赤十字メンバーによる、海外の青少年赤十字メンバーとの交流で学んだことなどが報告されました。

また、第2部の森山良子さんによるコンサートでは、森山さんの美しい歌声が会場の参加者を魅了しました。

参加者からは、「初めての式典と楽しいコンサートを十分堪能できました」と喜びの声がありました。

「第3回高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン」に日赤救護班を派遣

毎年の恒例行事となった「ぎふ清流マラソン」への臨時救護を本年も実施いたしました。

シドニーオリンピック女子マラソンで金メダルに輝き、栄えある国民栄誉賞受賞の高橋尚子さんの名前を冠するこの大会も3回目となり、第1回から臨時救護に携わって来ましたが、本年はゴール直後の救護所をまかされました。

本年も5月の第2日曜日に開催され、1万1千人を超える市民ランナーや招待選手、公務員ランナー川内選手や、サンブラザ中野さん他著名人も参加され、サンブラザさんは終了後のイベントでミニコンサートを行うなど大会を盛り上げました。

参加されたランナーからは「美しい長良川と岐阜城金華山の緑の中、気持ち良く走れて良かった」「高橋尚子さんから「あと少しだからがんばって」と応援いただきがんばれた」などの感想が寄せられました。

当日は曇天とマラソンには大変良い天候でしたので、救急搬送も昨年度より少なく、当救護所からも2名のみで、受け付けた30数名のほとんどは救護所で休まれてからご帰宅されました。



長良川競技場に設置された救護所

岐阜県赤十字血液センター

岐阜市西部中島2-10
<http://gifu.bc.jrc.or.jp/>

あかねべ献血ルーム 岐阜市西部中島2-10

TEL 058(272)6911
 受付期間 8:30~12:00 / 13:00~16:30
 休日 日曜日・年末年始

新岐阜献血ルーム 岐阜市長住町2-3 岐阜ビル5階

TEL 058(264)2122
 受付期間 10:30~12:30 / 13:30~18:00
 成分献血 10:30~11:45 / 13:30~17:30
 休日 金曜日・年末年始
平成25年4月1日より
 休日を変更させていただきます。

多治見駅前献血ルーム 多治見市本町1-2 駅前プラザ・テラ4階

TEL 0572(23)0227
 受付期間 10:00~12:00
 13:00~17:30
 成分献血 10:00~11:30
 13:00~17:00
 休日 木曜日・年末年始




献血ルーム(新岐阜) (多治見) イベントのお知らせ

	占い	第1週月曜日 / 第2週火曜日 / 第4週木曜日
新岐阜ルーム	アロマハンドトリートメント	第1週 / 第3週 / 第5週 水曜日
多治見ルーム	占い	第2週 / 第4週 水曜日

H25年9月末までの期間限定

75ml ミニハーゲンダッツプレゼント

期間中に400mL献血にご協力いただいた方にはもちろん、ミニハーゲンダッツを1個プレゼントします☆



●イベントは、定員に達した時点で受付を終了させていただきます。●イベントの日程は、変更になる場合がございますので事前にお問い合わせください。●400mL献血もしくは成分献血にご協力いただいた方にご案内しております。●開催時間など、詳しくはホームページをご覧ください。

第1回血液センターふれ愛フェスティバルを開催しました!

5月12日、岐阜県赤十字血液センターにて、「ふれ愛フェスティバル」を開催いたしました。当日は晴天に恵まれ、200名を超える方が来場してくださいました。けんけつちゃんとのじゃんけん大会やクイズ大会、血液センター近隣のまどが幼稚園の園児たちによるステージなど、様々な催し物が行われ、親子連れを中心ににぎわいました。

献血推進キャラクターのけんけつちゃんは、ちびっこたちに大人気! 子どもたちに囲まれ、記念撮影にも応じていました。けんけつちゃんは、地震車での地震体験にも挑戦していましたよ。また、脳年齢や血管年齢を測定できる健康コーナーも大盛況で、多くの方が列を作りました。

このフェスティバルをきっかけとして、赤十字のことを、地域の方に知っていただけただけではないでしょうか。

けんけつちゃんと一緒に盛り上がるイベントステージ



親子で楽しむ雑巾コーナー



地震車体験するけんけつちゃん



赤十字講習会のご案内

命と健康を守る赤十字講習会に是非ご参加ください

講習会名	日時	会場
救急法基礎講習	7月14日(日)・8月11日(日) 9月25日(水)・26日(木) ※2日間日程	日本赤十字社岐阜県支部
	8月22日(木)	高山赤十字病院
救急法救急員養成講習 ※対象:救急法基礎講習修了者	7月21日(日)・28日(日)	日本赤十字社岐阜県支部
	8月23日(金)・29日(木)	高山赤十字病院
健康生活支援講習支援員養成講習	7月22日(月)・23日(火)・29日(月)	岐阜赤十字病院
	7月25日(木)・26日(金)・8月1日(木)	高山赤十字介護老人保健施設はなさと
幼児安全法支援員養成講習	9月11日(水)・12日(木)・18日(水)	日本赤十字社岐阜県支部
防災ボランティア養成研修会	8月9日(金)	高山赤十字介護老人保健施設はなさと
	8月18日(日)	日本赤十字社岐阜県支部
防災ボランティアのためのこころのケア研修	9月9日(月)	日本赤十字社岐阜県支部
	10月26日(土)	高山赤十字病院
子育て支援ボランティア養成講座	9月19日(木)	日本赤十字社岐阜県支部

※講習の一部を掲載しています。詳細及び申込方法は岐阜県支部ホームページをご覧ください。

中学生が一次救命処置を学ぶ

羽島市立中央中学校にて6月22・23日の2日間、2年生130人を対象に救急法講習会が開催されました。

生徒は一次救命処置(心肺蘇生とAEDを用いた除細動)を人形やトレーニング用AEDを使って学びました。

始めは上手にできなかった学生も、肋骨圧迫、気道確保、人工呼吸、AEDの使い方をひとつずつ真剣に取り組み、救命手当の知識と技術を身につけました。

講習後には「今回の体験を何かあった時に役立てたい」と自信を持った言葉が聞けました。



真剣に受講する生徒たち

被災地にJRCメンバーを新聞記者として派遣!

7月20日(土)~22日(月)、日本赤十字社愛知県支部が主催する「子ども新聞プロジェクト」に岐阜県の加盟小学校から2名が参加します。このプロジェクトでは、JRCメンバーが、宮城県と岩手県の被災地を訪れ、現状と復興に向けた現地の様子を、子どもたちが新聞記者となって取材します。

また、取材した内容を子ども新聞として発行して県内の青少年赤十字加盟小学校に配付し、各学校で主に総合的な学習の時間や防災教育の授業で活用されることが期待されます。

子どもたちの現地の活動は、次号でお伝えします。

赤十字奉仕団活動報告「岐阜経済大学学生赤十字奉仕団」

私たちは、多々あるボランティア活動の一つとして、献血の呼びかけを実施しています。若年層が献血をする機会は少ないと思いますが、私たちの大学では毎回、多くの学生が献血に協力してくれます。今後もより多くの人が献血に協力してくれるように活動していきます。



岐阜経済大学奉仕団メンバー



協力者でいっぱいのはり血車

赤十字奉仕団の炊き出し

地域赤十字奉仕団は、県内全ての市町村に組織され、日々様々な活動を実施していますが、その代表的な活動が災害時の炊き出し訓練です。

赤十字奉仕団が行う炊き出しの多くは、炊飯袋(ハイゼックス)を使用した包装食といわれるもので、その作り方は“炊飯袋に入れた材料を30分程度、大鍋の中の煮立たせたお湯で茹でる”というシンプルなものですが、これにより水の節約や保存に適した調理ができるほか、アイデア次第で様々な料理が行えます。

各地の奉仕団では、各団毎に特産品等を使ったアイデアレシピを考えて、団員の技術の向上に努めています。

次頁からアイデアレシピの紹介を行いますので楽しみに



アイデア包装食の炊き出し
(血屋センターふれあいフェスティバル会場にて)

赤十字の包装食とは？

炊飯袋(ハイゼックス)とは？

食品衛生基準に合格した耐熱性ポリプロピレン樹脂でできています。※一般のビニール袋では炊飯出来ませんのでご注意ください。

炊飯袋をつかった炊飯

米と水を入れ密封し、約30分間ボイルするだけでおいしいご飯やおかゆができます。(作り方は図のとおり)

炊飯袋を使った炊き出しの特徴

炊きあがったご飯は、密封状態で出来上がるので、衛生的に扱えます。

鍋でお米を直炊きしないので、鍋を毎回洗う必要がなく、水を節約して連続して炊飯できます。

箸や皿等の食器がなくても食べることができます。(炊飯袋は丈夫ですが紙には裂けます)

この炊飯袋では、炊飯のほかにも様々なメニューを作ることができます。



日本赤十字社岐阜県支部 平成25年度第1回評議員会

平成25年6月7日岐阜県福祉・農業会館で評議員会が開催され、平成24年度の県内赤十字4施設の事業報告と決算報告及び日本赤十字社岐阜県支部副支部長の選出について承認されました。

平成24年度決算報告

皆様の寄付は、このように使わせていただきました。



歳入

社資収入	422,236,903円
本社交付金、繰入金等収入	16,344,333円
前年度繰越金	76,561,475円
歳入合計	515,142,711円

歳出

国際的な活動に	2,000,000円
災害救護活動や救護資機材の整備に	26,574,402円
講習会の普及に	17,860,097円
赤十字奉仕団や青少年赤十字の育成と普及に	26,810,036円
赤十字思想の普及等に	28,341,939円
市町村における赤十字活動に	49,270,699円
赤十字病院や血液センターの医療機器整備や事業費に	22,944,049円
看護師の養成に	11,430,132円
本社における活動に	61,940,882円
支部の運営に	86,393,650円
災害救護事業への備えに(特定寄附金を積立)	100,264,016円
歳出合計	433,829,902円

赤十字社員増強運動月間 -街頭で赤十字をPR-

日本赤十字社では、創立月にあたる5月を「赤十字運動月間」としてこの月間を中心に「赤十字社員増強運動」を行っております。

この運動は、一人でも多くの方々に赤十字活動を理解していただき「社員」に加入していただくことを目的としています。

月間中にはテレビや新聞・乗合バスでの広報のほか、火曜日と金曜日に、JR岐阜駅踏場や名鉄岐阜駅周辺で、通勤通学途中の人々に、赤十字事業を知ってもらうために、リーフレットやポケットティッシュを配布しました。

※社員とは…日本赤十字社を組織する構成員です。「社員」に加入していただきますと、毎年社費を納めていただくこととなります。



ありがとうございました

平成25年5月31日現在で岐阜県支部に寄せられた義援金・救援金は次のとおりです。

義援金名	金額	受付期間
東日本大震災義援金	1,934,366,567円	平成26年 3月31日まで
シリア人道危機支援金	18,009円	平成25年 9月30日まで
2013中国四川省地震救援金	10,000円	平成25年 7月23日まで
フィリピン南部台風救援金	11,003円	受付終了

なお、東日本大震災義援金につきましては、下記の口座にて受け付けております。

- 口座名義
日本赤十字社 東日本大震災義援金
- 口座番号
001140-8-507

皆様のあたたかいご協力に心から感謝いたします。

